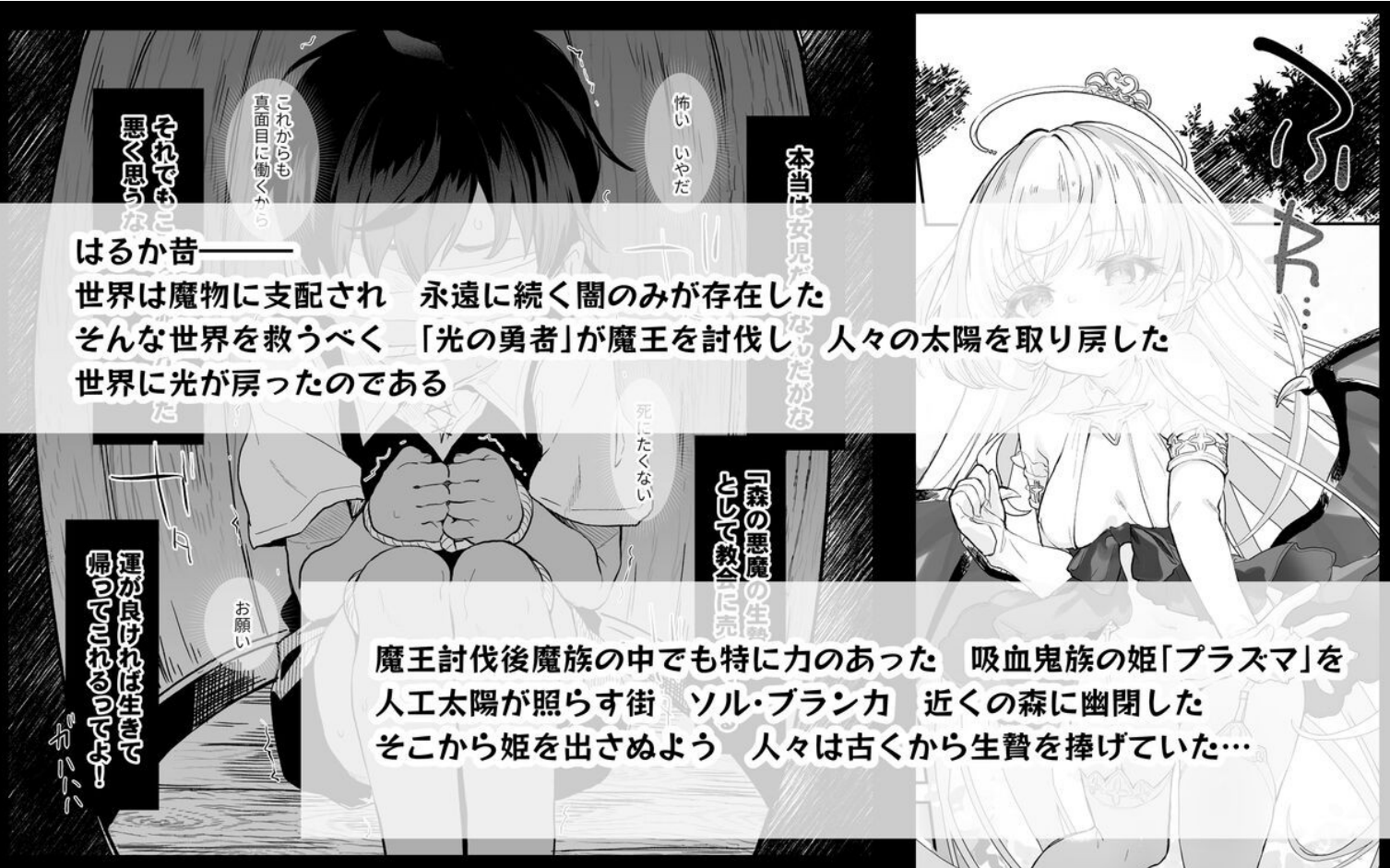
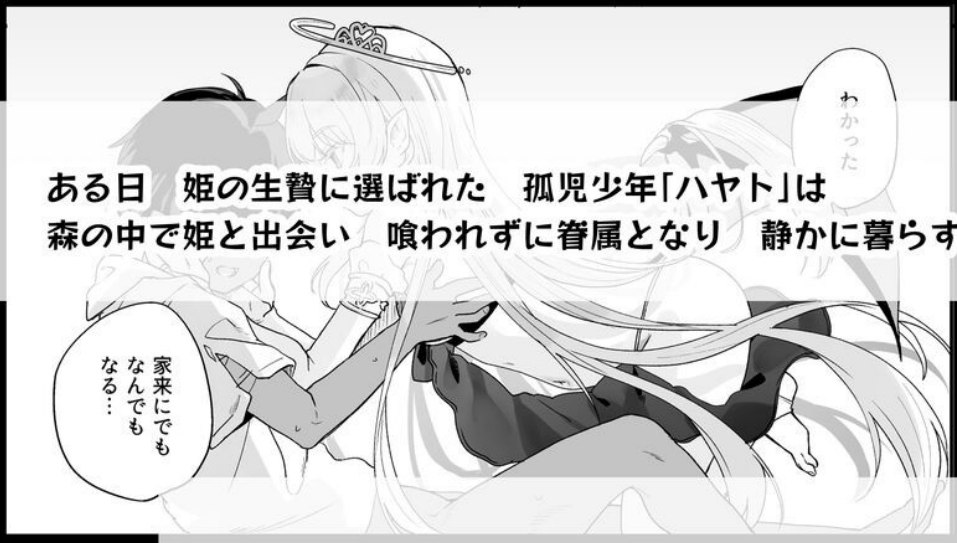
夜血姫
変態スライムなんかに負けるわけないっ！
KEDAMAMILK
2
KEKKIYAKOU
KEDAMAMILK
R-18



はるか昔――
世界は魔物に支配され　永遠に続く闇のみが存在した
そんな世界を救うべく　「光の勇者」が魔王を討伐し　人々の太陽を取り戻した
世界に光が戻ったのである

魔王討伐後魔族の中でも特に力のあった　吸血鬼族の姫「プラズマ」を
人工太陽が照らす街　ソル・ブランカ　近くの森に幽閉した
そこから姫を出さぬよう　人々は古くから生贄を捧げていた…



ある日　姫の生贄に選ばれた　孤児少年「ハヤト」は
森の中で姫と出会い　喰われずに眷属となり　静かに暮らすこととなる

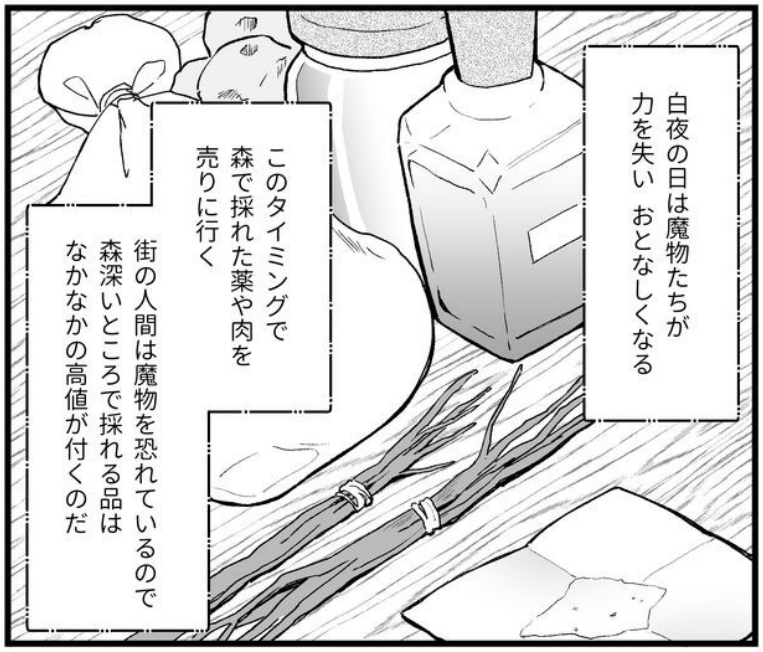
太陽が二つ昇るソル・ブランカでは　特に太陽同士が強く輝く白夜がたびたび起こり
その期間　魔物たちは弱体化する
吸血鬼も例に漏れず　高貴な吸血姫プラズマもよわよわになり

精液が大好物なプラズマはちんぽ狂いとして
ハヤトとイチャイチャえっちまみれの　乱れた性活を送るのだった…！

血姬夜交
KEDAMAMILK

何で…っ
チチチ…
チュン
チュン…
何でわたしが
こんな目にぃ…っ！
…ッ
ぷるん
ぷるん
数刻前――
えーっ
今から街に
行くぅ!?

うん
今日は白夜だし
安全だから
動物も狩り放題で
肉も手に入るし
キュッ


白夜の日は魔物たちが
力を失い おとなしくなる
このタイミングで
森で採れた薬や肉を
売りに行く
街の人間は魔物を恐れているので
森深いところで採れる品は
なかなかの高値が付くのだ

森の暮らしに不自由は無いが
時々 街での買い物も必要になる
昔は変装して行商に
行っていたのだが…
今は俺の事を知っている人は
ほとんど居ないだろう
孤児院はなくなっていた
知らない
建物が増えてる…

ちなみに塔までの道に
銀製の武器が
ときどき落ちていて
これもそこそこな
値になり、助かる
おそらく伝説を確かめに来た
冒険者たちが道に迷って
道中魔物に
やられているんだろう…
また使えそう…

こんな日に
あるじを置いて
行くなんてぇ～～
ハヤトはわたしなんか
どーでもいいんだぁ!
ぺっ
ぺっ
銀製
吸血鬼が銀に弱いのは
多分デマだと思うけど…
食べながら
喋んないの

プラズマちゃんの
新しい服
買ってくるから
…
海外の珍しい
輸入品も
見てくるよ
ね？
…ふっふ～ん♪
こっそりハヤトの
あとつけちゃうもんねっ

本当に出かけちゃうなんてハヤトのやつ…
ガサ…
後ろから驚かして腰抜かしちゃえばいいのよっ
だいいち吸血鬼狩りにねらわれたらどーすんのっ
ひとりなら森にいた方が安全だと思うわ
チャキッ
なんせわたしは吸血鬼だもの！
いくら力が弱まってもこの森にいる魔物はみーんなザコ！
チャン！
サクッ
もしもし。
私が負けるわけないんだよね～♡
さっさとハヤト連れ帰ってえっちしちゃお！
もにゅ…？
ガサガサ

何コイツ…
スライムっ…!?
こんなデカいスライム
森にいるなんて聞いてない…っ
ぐぐっ…
ぐぐぐぐ
きっと知能が低すぎて
太陽の影響
受けてないんだわ…
こんな時にしか
イキれないザコのくせにっ…!
どうせ朝も昼もぼーっとして
陰湿でキモい生活してんのよ!
くそっ…
真っ先に
口塞がれたし…
叫べてたら
ハヤトに気付いて
もらえたのにっ…!
えっ何?
う…服の中にっ…
ねばねばで
気持ち悪い…っ
ぐぐぐ…

ちょ…っ
こいつ
何する気…
ぷるるんっ
ぐにゅ
見るなスライム…！
お前が見ていいもんじゃな…っ
とろ～～～
うっ…
つめたっ…！
ぐにゅ
ぐにゅ
ぐにゅ
弱化してるのと
冷たさで乳首
たっちゃったけど…
ただヌルヌルしてる
だけなら全っ然
耐えれる
めろ…
ぶっ
ぶっ
めろ…
フン
愛撫もザコね
別に気持ちよく
なんてないし
何が目的なのよコイツ

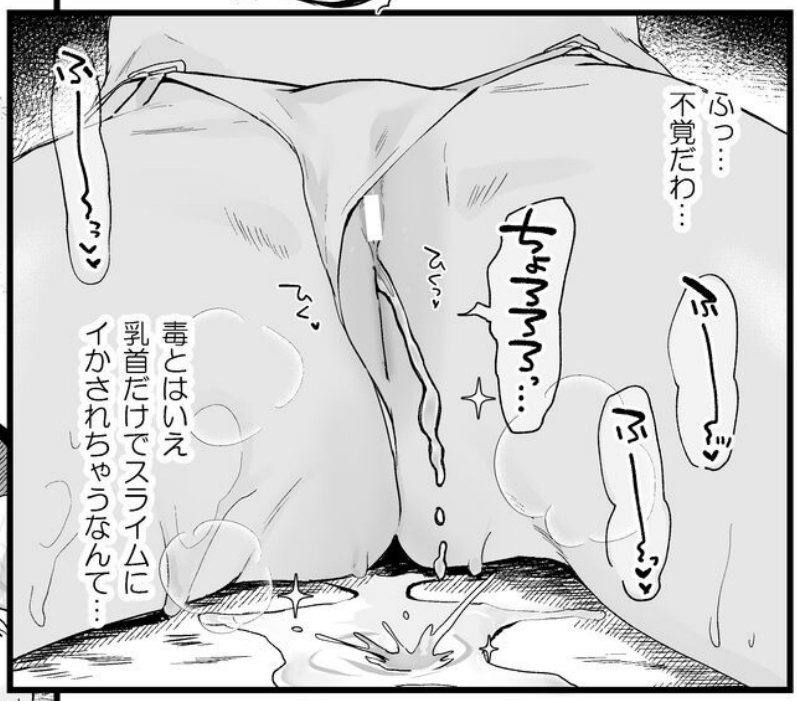
とにかくっ…
抜け出せる体勢
見付けて
逃げなきゃ
こんな図体だと
足は遅いはず

うっ…あつっ…
触れている所が
痛い…!?
いや かゆいっ…
まさかこいつ
毒持ち…っ!?
何もしてないのに
じんじんして…っ
媚薬擦り込まれた
みたいに疼いてるぅっ…!
うぅ…
さわりたい…っ

思いっきり
つまんで
弄りたいぃっ…♡
なにっ…
これっ…
吸っ…♥
すごいっ
圧迫ぅ…
へ…？
なんかこいつ…
水流を起こしながら
弾んでる…？
もぉ…
なにされてるのか
わかんないぃ…っ♡

やば…っ♡
きもちい…♡♡♡
スライムごときの
攻撃でぇ…♡♡
吸血鬼のこの
わたしがっ……♡♡♡

イっ…――
ツツツ♡♡♡♡♡
トロトロ…
ビクビク
ぶしゃっ
ぶしゃっ


ふっ…
不覚だわ…
ぶ――
ぶ――
ちょろろろ…
ひっ
ひっ
毒とはいえ
乳首だけでスライムに
イかされちゃうなんて…
ふ――

おぉ――…♡
ちぽ♡
ちぽ♡
ちぽ♡
無駄にムラムラ
残ってるから
はやくハヤトに
追い付いて…

なっ…!?
ガサッ
ぷるぷるぷるぷる
んっく
んっく
小さいスライムたちが私のおしっこに群がってる…!
なんだこいつら…!!
や…
やめろーッ
吸血鬼様の尿をスライムごときが飲めると思うなっ
あっちいけっ!

ふんっ
あんな低級(クソザコ)モンスターの栄養にされてたまるかっ
ぷっ…
ぷぅ…
ぷぅ…
ぷぅ

なんなのっ…
気持ちいいところばっか
執拗に攻めてきて…っ
はーっ
はーっ
はーっ
頭おかしくなるってばぁ……
ぺちょ
んっ…♡
ぺちゃ
ばっ ばか
そこをさわるなっ
ぺちっ…
ゲル状だから
うまく入らないっつの…！
馬鹿なの？
ちょっ…
無理やりねじ込む気っ…？
やっ…
ヤダヤダっ
お前が挿入って
いいとこじゃっ…
ヤ ヤ ヤ
おおぉ

ハヤト…っ！
プラズマちゃん大丈夫っ…!?
ハヤト～～～助けてくれたの!?
いつの間にか後ろ付いてきてたプラズマちゃん居なくなってたから
じゃなっ…
間に合ってよかった
全然間に合ってないんだけど…
キャキ…
ぼき～ん
いやハヤトぜったいさっきの見てたでしょ…
アハハばれちゃった

だってプラズマちゃんの
あんなえっちな姿
見せられたら…
目に焼き付けたくなって
興奮しちゃって…
バカハヤト…
ヒメっ…
ぴくっ
モぉ…
今日は帰ろう？
分かった
今日は街に行くの
やめるよ
あっ…♡
ぴくっ
ぐぃ
ぐぃ
でもコレ…
おさまる気配なくて
ほぉら？！
ぉぁ…
プラズマちゃんも
いま欲しいでしょ？
ボロン
ドギ♥

べっ…別に
今すぐって
わけじゃ…
ずっ
ベッドの方が
いいし…
やばい…♡
ハヤトのちんちん
カッコいいっ…♡
むらっ
むらっ
すっごい血管浮いて
お汁垂れてて
おいしそう…っ♡♡
むらっ
ごすっ

ちょっ…
においっ…
ヤバっ…♡
レギュッ
すーはー
くさっ…
オスくさいっ♡♡

ハヤトの
おちんちんっ…♡
おいしすぎぃ…っ♡
脳みそしびれるぅ…♡♡
あっ
びくっ
プラズマちゃっ…
きもちいっ…
びくっ
ずぼっ
ずぼっ
ずぼっ
おくちの中いっぱいに
ごりごり犯されてるっ♡
こんなの家まで
我慢できるわけ
ないよぉ…♡♡♡

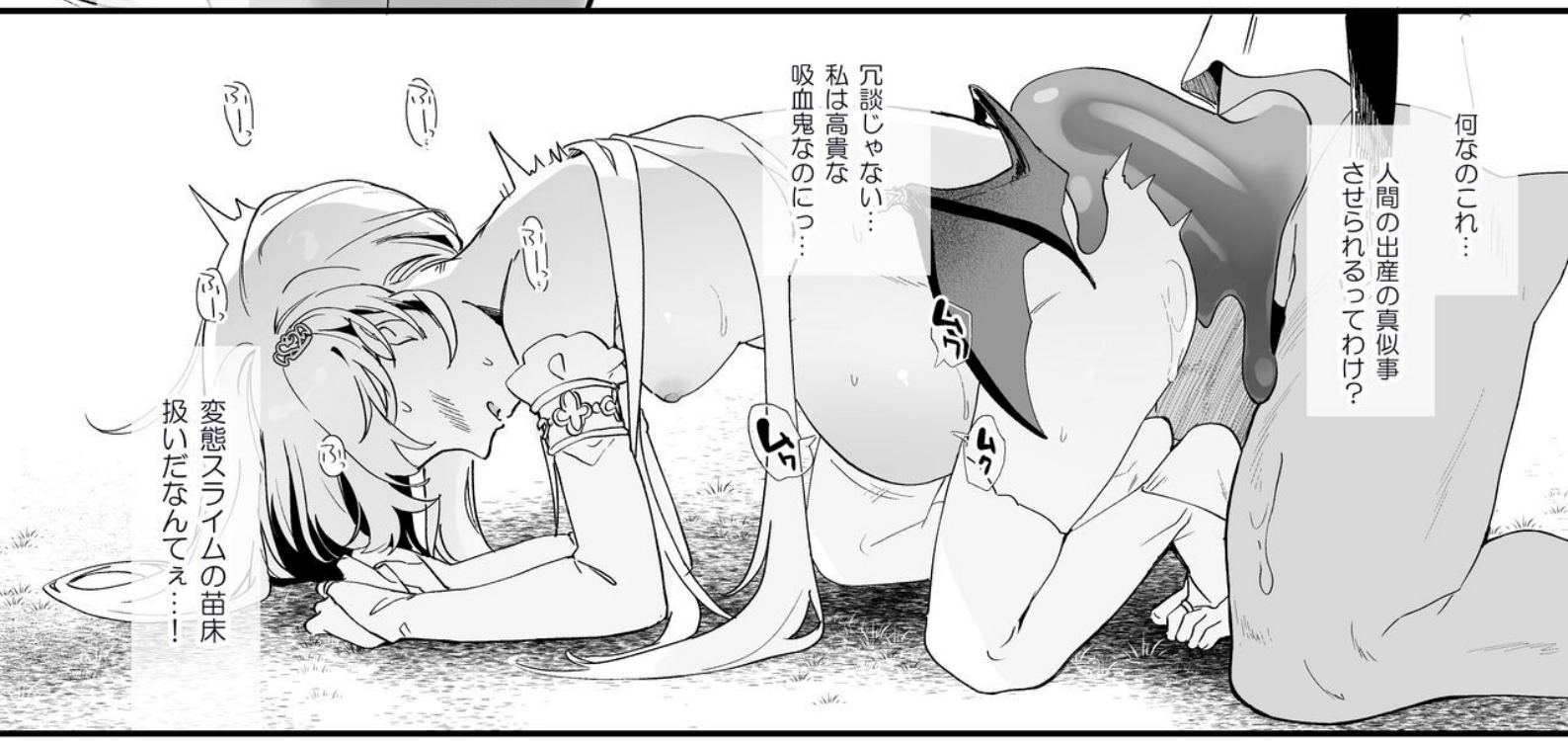
ぜったい これ
クソスライムのせいで
変な状態異常付いてるぅ…
ハヤトのちんちん
舐めながら指ずぽずぽ
するの気持よすぎっ…
毒のせいで…っ
いつもより腫れてて
クリこすれるし…
ちくびも疼き
ぜんぜんおさまんないよぉ♡
あー♡ きもちい♡♡
くっさいちんぽで
あたまイカれるぅ…♡♡
ハヤトのぬるぬる
いつもよりすごいっ…♡♡♡
男なのに
はっずかしい声で
喘いじゃって…っ♡♡
プラズマちゃん…
プラズマちゃっ…

どんな情けない顔してるのか見てやるわ…♪
ぷぁ
ぷっ…プラズマちゅっ…
!?
しまったっ…さっきの残党!?
アホハヤト!
ポヤ
なにやられてんのよぉ!
バカ!! 目え覚ませッ
ポカ
くそっ…変態スライムめぇ…っ
ぐぬぬ…
陽が落ちたら絶対殺してやるんだから!
ベチャ
あっつぅ…
なに…これさっきよりっ

っあ
やば…っ
それはッ…
ぷちゅ…♡
しびれっ…
はいっ……♡♡♡
ずぶ…
ずぶ…
なに…これ…
からだ…
思うように
動かなっ…
膜張ってて
いつもよりおおきいっ…
ぬるぬるしてて
奥まで勝手にはいってくぅ…

ぐぐ…
ずぶぁ…
奥ぅっ♡
ドピュ
ビュルルッ♡
なっ…何…っ!?
ドピュ
はぁ、はっ…♡
急に…射精…っ
苦しっ…
あ…っ
あぁっ
びくっ…
びくっ…
――じゃない…っ!
こいつ…っ
ハヤトのちんちんを
骨にして自身の種をっ…
わたしの魔力を
内側から盗って
仲間を増やそうとしてる…!?

…やっと終わっ…
ぶるっ
う…おなか
重い…っ
はっ
はっ
はっ
はっ
ザコスライムのくせに
栓して漏れないように
してやがるぅ…
ポヨン
ポコ
やば…力吸われて
どんどん中でおおきくっ…


何なのこれ…
人間の出産の真似事
させられるってわけ？
冗談じゃない…
私は高貴な
吸血鬼なのにっ…
ムクッ
ムクッ
ムクッ
ふーっ
ふーっ
ふーっ
ふーっ
変態スライムの苗床
扱いだなんてぇ…！

やばいっ…
くるっ…
ん…っ
ぃっ…っ
あっ…お…っ
ビクッ
ビクビクッ
でちゃ
ゴッ
あ…っ

な…にゃにこれぇえ…
ぶぁあぁあっ♡
ぬめぬめしたのがいっぱいでて…ふわふわするぅ…
んっ…
ぬぽ…っ
あっ♡
最後の…っ
ぶるっ…♡
はぁあっ♡
なんか…っすごかったぁ…
よくわかんないけどすっきりしてめっちゃきもちー…
これクセになったらどうしよぉ…
ぬるっ…
ぷら…ずるっ…ちゃ…っ
ぽっかり♡

わー！
バカハヤト
やめろ!!
あー
うー
もういい！
しばらくもういい！
からだ もたないってぇ…！
ヘニャ
ヘニャ
ヌルッ

封魔 3 完了

っーかいいかげんにっ
ぐっ…

目を覚ませっ！
ゴキッ
ぬぷっ

っぷ…
プラズマちゃん…!?
ぱっ
いつもおっそいのよ
アンタはぁ…
なんでそんな
どろどろなの？
…ハヤトが言う？

わたしは
ハヤトのせいで
大変な目に
遭ったんだからーっ
ボコ
ヒュカ
…ごめん
全部覚えてる
ぷるるっ…
ぷるん
ぼぼぼ
ひゃあっ⁉
ちょっ…
何こいつら…ッ
ぢゅる
ぢゅるっ
ぢゅるっ
ぢゅるっ
ぢゅるっ
さっきわたしから
出てきたやつ…っ⁉
はやく森の奥
行けっつのぉ…!!

やめろおっ…
変態スライムめ…
まだそこ敏感なのにっ…
変な声でちゃう…っ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ

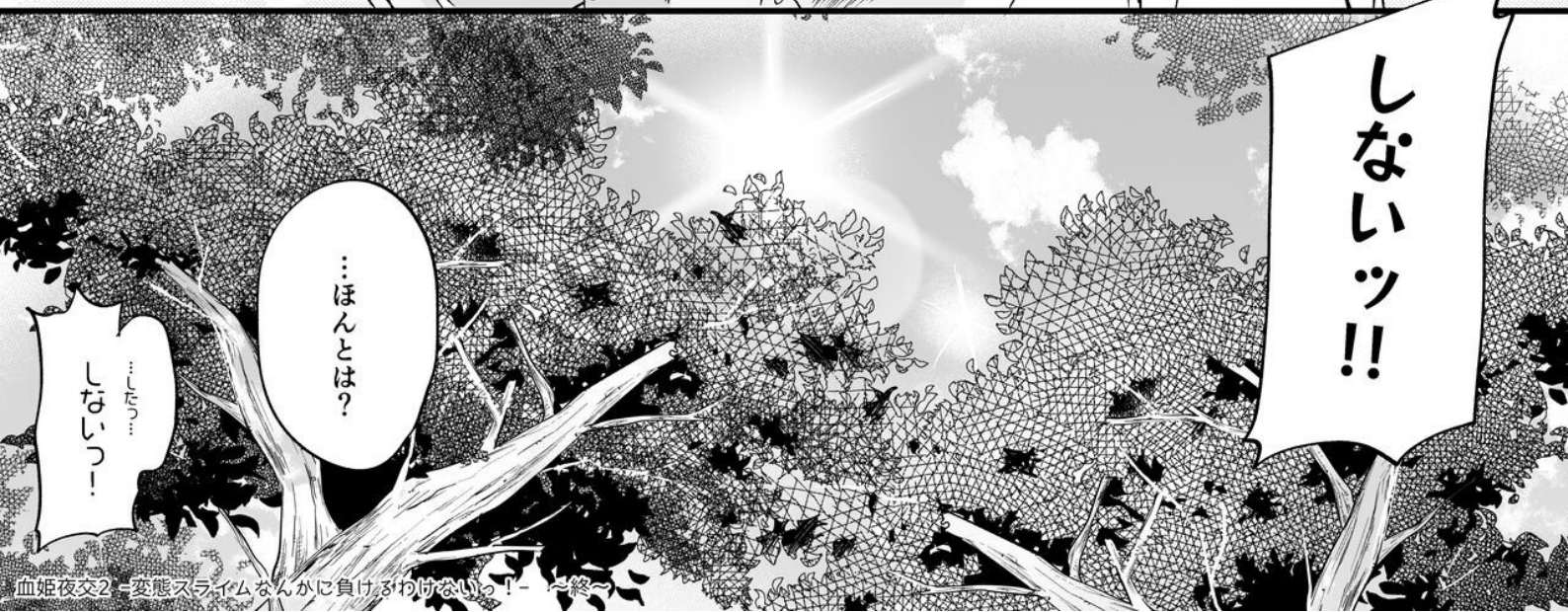
ごめんプラズマちゃん
エロすぎて…
ビキ
ビキ
!?
何で
あとなぜか
体からスライム
出せるようになった
でろ
なんでッ!?

もしかしたら刻印で
封魔した魔物の
特性を得るのかな…?
この子たちの
言うこともなんか
分かるし…
おっぱい
ママ
これが勇者の刻印の
力ってことなのか…
そんなのどーでもいいから
はやくこいつら
離してよっ

ね、
かわいそうだから
その子たち
連れて帰ろっか〜
やだよっ
僕たちの子供みたいな
ものだし…
ちがう

これからいつでも
プラズマちゃんの
好きなときに
ぬるぬるスライムで
えっちできるね～♡
へあっ!?

プラズマちゃんの中に
いっぱいスライムの
赤ちゃん植えて
ぱんぱんのお腹から
びゅるびゅる
排泄出産してるとこ
また見たいなぁ
かわいい乳首もクリも
ぬるぬるで締めあげて
あげるよ


しないッ!!
…ほんとは?
…したっ…
しないっ!

自分用設定資料

ルヤト

178cm/71kg/17cm
獲得特性：家事、吸血鬼、スライム

産まれた時から親がおらず悪徳孤児院で育つが
肌の色の差別で貰い手が無く12歳の時に森に捨てられた。
片目は森に落とされた時のケガでほぼ失明。
勇者の末裔だったことがプラズマとの出会いで発覚し、口内に刻印を持つ。
刻印に触れた魔物を封じ、対象の特性を得る事が分かった。
完全に吸血鬼になれたわけでない事に密かにショックを受けている。
普段は吸血鬼の特性を発動しているので、歳の取り方が緩やか。
発動時もある程度の太陽は平気。
だいたい70年くらい生きている。

うっかりめずらしくイケメンじみたキャラで描いてしまって
なるべくエロシーンで画面に顔を描きたくない…気が散るから…
ようやくエロ漫画として使いたかった設定を描けました。
チート能力でいろんなエッチが出来るで！！
「血姫夜交」のコンセプトは「血（種族）で交わる」なので、
いっぱいいろんな種族の姫と子作りおせっせしまくりてえ～！
の気持ちで描いているのに、マジで進み遅くてすみません。

プラズマ

132cm/33kg/

吸血鬼族の姫。本名不詳。
血よりも精液を好むため、「精漿（プラズマ）」と呼ばれていた。
光の勇者によって魔王が討伐された後、ソル・ブランカ近くの塔に幽閉される。
塔のある森は常に薄暗い為、木々の多いエリアは自由に移動できる。
姫である為わがままで傲慢。精神年齢が幼い。
推定1000年は生きているらしいが特に取り柄は無い。
治癒魔法は少し出来る。
ハヤトによって封魔されてしまい、飛ぶ力を奪われた。
微妙に浮くことは可。
浮遊ティアラはただの飾りに、羽は爪に重りの鎖をはめられた。
羽が邪魔なのでお尻のタトゥーとしてしまうことも。

比較的おっぱいをおおきめに描くことを意識しているキャラではあるが
巨乳を描く機会が無さ過ぎて盛り耐性がない私のせいであまり
他キャラと変わらない…
少しずつぷにぷにさせていきたい気持ちと自制したい気持ちがせめぎ合っている。
助けてくれ～～～～
服が描きづらすぎる構造なので今回服をロストしたことにより
もう少し描きやすい服で登場させたい…
毎回服違ってもいい、お姫さまだし…
本当は髪長いキャラ描くのしんどいので今回アクシデントで
ばっさり切られちゃうお話にしようかと思ったが表紙詐欺になるのでやめました。
髪切ってるところも、まあ見たい。

あとがき

ほ、、、、本番が無い・・・・・・・・！！！！！！
描きながら気づきました、射精が無い・・・・・・！？
そんな話描くことあるんだ・・・自分で驚いてます。
エロ漫画はキモおじ（情けない男）かちんぽに感情移入して描いてるんで
キモおじとちんぽが活躍してると嬉しいですね。
いつも「いけー！ちんぽー！いけー！」と黙祷しながら描いてます。
今回スライム初描きでしたが触手とかそういう系もキモおじ＆ちんぽ判定らしく、
楽しく描けた気がします。異種姦苦手な人ごめんね。ワイは好きやで。
作業日数足りなくて描きたかったシーン削っちゃったので、やっぱりもっとちんぽが描きてえよ。
ファンタジー設定なのでファンタジーらしいことで遊んでいけたらなと思っています。
フレー フレー ち・ん・ぽ！

18歳未満の者の購入、閲覧禁止。
無断転載、無断翻訳禁止。
違法アップロードした者、それらを閲覧、
ダウンロードした者には法的処置を行います。

血姫夜交-真祖の姫は発情しているっ！-

発行
玉之けだま/毛玉牛乳
tamano@kedamamilk.net

2023/12/31 コミックマーケット103

装丁デザイン・円と球様

毛玉牛乳
Presented by
KEDAMA
MILK